

【説明資料】発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的，利用方法，作品自体やその製作過程で工夫したことを，文章，写真，図などで説明。この用紙1枚に記入し，PDFファイルに変換した後，ホームページに貼り付けてください。

学校名	静岡大学	グループ名	受動歩行模型開発チーム	作品名	受動歩行模型「ふしぎ発見モアイ」
-----	------	-------	-------------	-----	------------------

研究室では受動歩行模型を教材として研究しています。静岡市の小学校では理科の授業で受動歩行模型をものづくり教材として、平成19 - 20年度で16クラス600名弱の生徒が製作しています。モアイ像の受動歩行模型は、千葉の長井鉄也氏と共同研究で進められていて、理科の授業の導入部で生徒に提示すると

「ええー！ モアイが歩くのー！！！」

と、ものすごい興味をもって食いついてきます。シミュレーション解析で歩行を明らかにしつつ、実物との違いは試行錯誤を繰り返しながら製作しました。最も困難だったのは、実際の道路での歩行ということで、道路の凹凸で歩行が停止してしまうため、幅の広い条件で歩行可能なモアイ像への工夫がされています。

静大近くの一般道「定年坂」を歩きました！

イースター島では、PAPA NUI NATIONAL PARKのPark Rangerや現地の方、観光客にアンケートを取りましたが、文明や言語が途絶え「モアイが歩いた」という伝説を証明する運搬方法としてとても面白いと運搬方法は絶賛されました。また、モアイ像に穴をあけている点などを改良すべき（神聖なものだから）と指摘を受けました。今後、もっと進化していくと思います。

イースター島で実物モアイとご対面！

